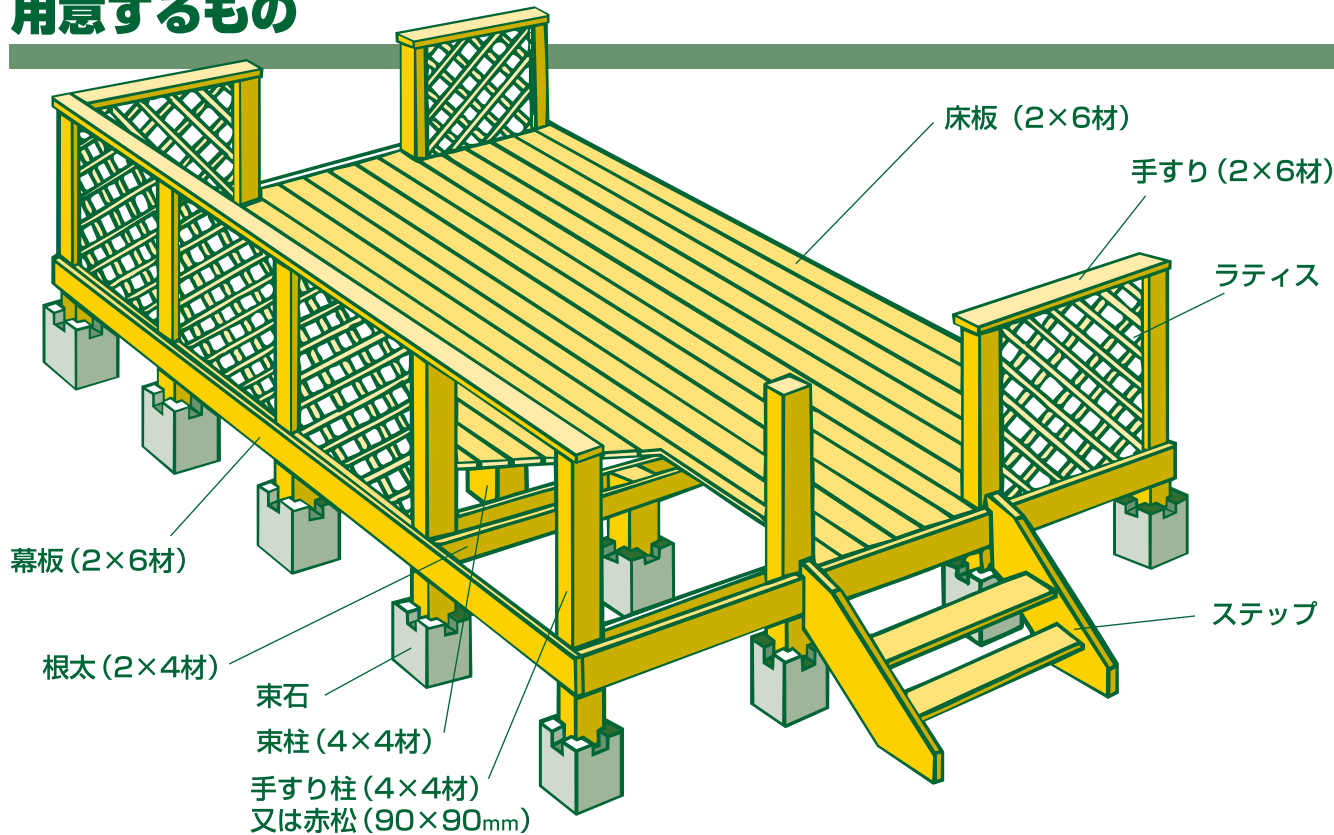


用意するもの



道具

- ・充電ドライバー又はインパクトドライバー
- ・電動丸ノコ
- ・さしがね
- ・水平器
- ・メジャー 5.5m
- ・チョークライン
- ・水糸
- ・ハンマー
- ・ゴムハンマー
- ・平バール
- ・保護メガネ
- ・防塵マスク
- ・皮手袋
- ・ゴム手袋
- ・透明ホース

塗料

- ・浸透性木部着色保護塗料 (アウトドアステイン) 又は水性ペイント (ウレタンヒット)
- ・キシラデコール
- ・スジカイ刷毛
- ・ローラー刷毛

サービスのご案内



●下記クレジットカードがご利用できます



□はギフト券もご利用いただけます



制作発行／株式会社セキチュー 販売促進課
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1

TEL.027-345-1111(大代表)

©無断転載は禁止します

ウッドデッキの作り方

暮らしを楽しむDIY

D.I.Y
6



庭の一部を利用してウッドデッキを作りませんか。いろいろなバリエーションで販売されていますが、やはり自分で設計して作り上げたものの方が味があり、愛着もひとしおのところ。それに自由に設計できるので無駄がありません。春から夏、そして秋にかけて“ああ、いいなあ”と実感できるガーデニングライフが満喫できます。

Do it Yourself & Save

ウッドデッキを作る手順

1 プランニング

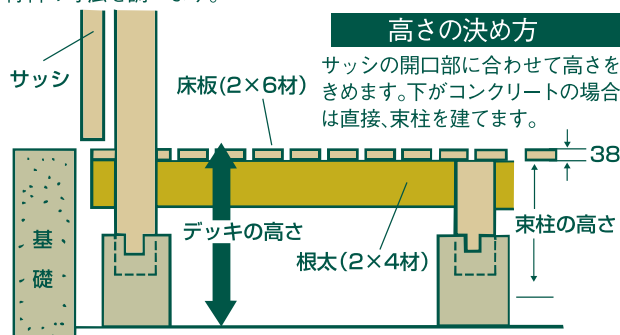
- ・作りたい庭のイメージを手描きで簡単なスケッチにします。
- ・庭のデッキを作る部分を実測して下さい。
- ・床、フェンス、柱、階段のサイズを決めます。
- ・材料の寸法を調べます。

ここがポイント!

- ・大きな物を作る時には、資材置き場を確保しましょう。
- ・床の高さはサッシの高さが基準です。
- ・根太に防腐加工2×4材が最適です。

高さの決め方

サッシの開閉部に合わせて高さをきめます。下がコンクリートの場合は直接、束柱を建てます。



2 塗装 (1回目)

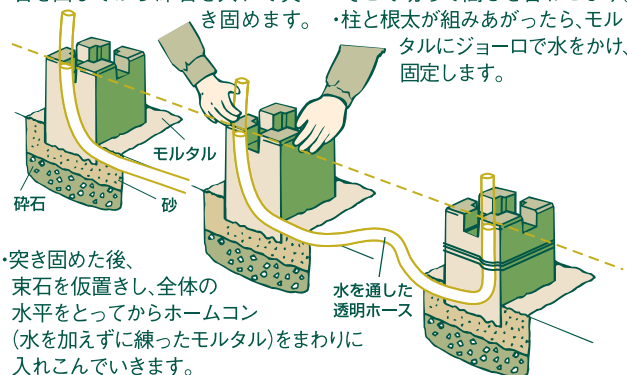
- ・柱、根太、床板、幕板に防虫防腐剤を塗っておきます。

3 基礎 (束石の据えつけ)

- ・地面をできるだけ平らにならします。
- ・基礎の位置を図面に書き、地面にマーキングして下さい。
- ・束石を仮置きし、15cmぐらい掘ります。
- ・束石を入れて水平をとり、また束石を出してから碎石を入れて突き固めます。

ここがポイント!

- ・束柱は少し長めに切ったものを束石に差しします。
- ・透明ホースで水平線を書いてそこで切って高さを合わせます。
- ・柱と根太が組みあがったら、モルタルにジョーロで水をかけ、固定します。

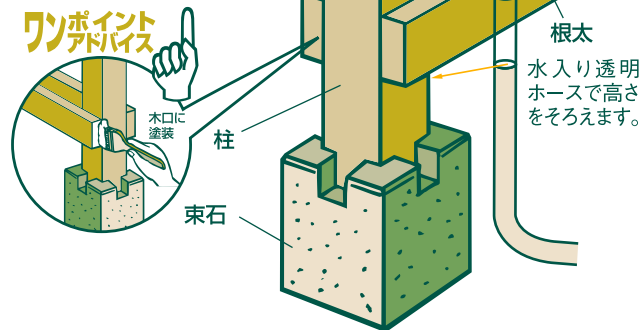


- ・突き固めた後、束石を仮置きし、全体の水平をとってからホームコン(水を加えずに練ったモルタル)をまわりに入れこんでいきます。

4 柱、束柱、根太、幕板のカット

- ・柱、束柱、を決めたサイズにカットし、束石の上に建て、根太、幕板の位置に墨付けをします。
- ・根太、幕板をカットし、柱、束柱の位置に墨付けをします。

ワンポイント

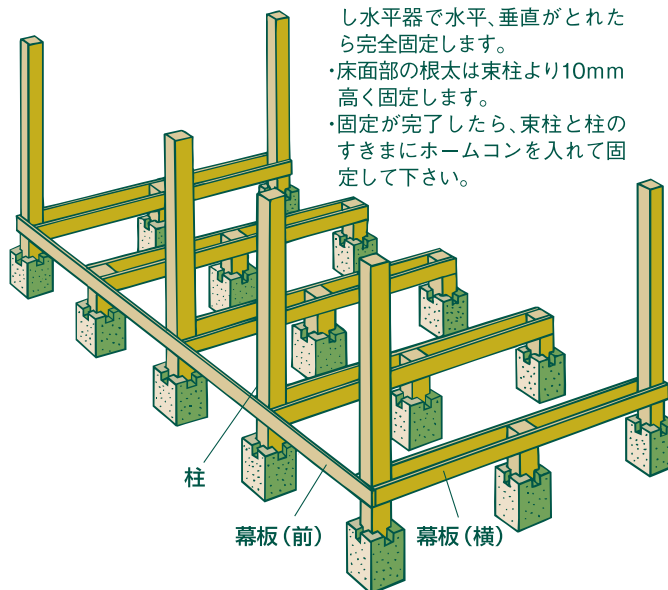


5 柱、束柱、根太、幕板の取付け

- ・柱、束柱を建て、幕板(前面)に固定して下さい。
- ・根太を両端の柱、束柱に固定して下さい。
- ・中間の束柱と根太を固定します。

ここがポイント!

- ・根太、幕板の固定は柱との垂直がとれるようにビス1本で仮止めし水平器で水平、垂直がとれたら完全固定します。
- ・床面部の根太は束柱より10mm高く固定します。
- ・固定が完了したら、束柱と柱のすきまにホームコンを入れて固定して下さい。

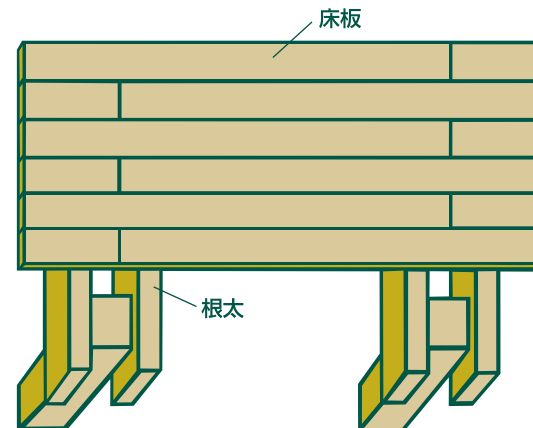


6 床板の取付け

- ・床板の継目が一直線にならないよう交互にずらして幕板を基準に仮置きし、はみ出す部分に印をつけてカットします。
- ・固定は10mmのすきまを空けて根太の真上から、木ねじで固定します。
- ・カットした木口に塗装をして下さい。

ここがポイント!

- ・床板の端が反らないように幕板から木ねじで固定します。



7 ラティスとクロスフェンスの設置

・枠付ラティスの場合

設計時に柱間を枠のサイズにあわせておき、差し込みます。枠から柱へビス止めします。

・クロスフェンスの場合

柱の上に2×6材を笠木としてビス止めしておき、柱間に2×4材を斜めに当てて墨付けし、先端をカットして柱間に入れます。もう1本反対側も作り接合部分をビス止めして完成です。

